



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

万葉のまち 市辺

第67号

令和6年4月



3月31日 万葉の森 船岡山公園 第2回 蒲生の万葉フェスタ 開催
短歌の朗詠、ウォークラリー、野外音楽フェス、Happy マルシェ/軽食コーナー



発行：市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2391
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392



第2回 蒲生野万葉フェスタ 開催される!

第2回 蒲生野万葉フェスタが、令和6年3月31日(日) 好天の下、開催されました。今年の桜の開花は、直前の寒波襲来で例年と違って遅くなり、開花宣言にはならず、(残念ながら)満開の桜の下での開催とはなりませんでした。

最初は、万葉の森 船岡山公園にふさわしく、「朗詠による蒲生野短歌会」からスタートしました。蒲生野での遊猟を描いたレリーフの前で、当時の衣服をまとい、朗々と読まれる短歌に、聞き入りました。

その後は一転、特別イベントの「船岡山野外音楽フェス」の場となり、京阪神で活躍されている多数のミュージシャンの出演により、賑やかな会場に早変わりしました。

会場は、「HAPPYマルシェ/ 軽食コーナー」や、県内外での人気のお店など出店があり、会場は一気ににぎやかな場となり、盛り上がりました。

午後からは、小学6年生以下の「公園一帯のウォークラリー」が開催され、親子連れなど、途中に出題のクイズを考えながら、楽しく歩いて参加賞をゲットしていました。



わくわくこらぼ村 減災かるた大会で熱戦

令和6年2月23日(金) 能登川コミュニティセンターにおいて「わくわくこらぼ村」が開催されました。来場者は2400人と多く、子どもたちも多数参加していました。

減災かるた大会は、参加予定人数を70名で準備していましたが、用意した参加賞がなくなり、店じまいとなる盛況ぶりでした。

参加していただいた保護者の方からは、「コロナ禍で少なくなったので、大変楽しく参加できました」などの感想をいただきました。

なお、この日の「かるた大会」で使われた「かるた」

は、市辺地区まちづくり協議会が作成した「減災かるた」です。この減災かるたは、令和4年4月の内閣官房 国土強靱化推進室発行の民間取り組み事例集に取り上げられ、「企業、団体等の事例とともに、まちづくり協議会が取り組む子どもから地域へ広がる活動」として紹介されています。

巽神社に「勸請縄の看板」を設置

糠塚町の巽神社に勸請縄の看板を設置しました。

勸請縄は書籍や文献などで紹介されており、1年を通じて祀られています。しかし、巽神社では、1月～3月までしか見られません。この看板によって勸請縄の行事が分かります。

巽神社の勸請縄の独自性は、次のとおりです。

- ・1月松の内に氏子全員によって作られる。
- ・祈祷札に勸請佛や経文由来文字が有りません。
- ・地上串(札)が神式(祝詞)である。
- ・子孫繁栄を願う世代藁人形を付ける。
- ・3月末の祭の松明で焼き上げられる。
- ・参道のほか、しめ縄として、本殿、野神社(以前は地福寺・稲荷社)にも付けます。

糠塚町の年中行事には、集落の祈りの歴史が凝縮されています。

一度、勸請縄の看板から歴史探索をしてみても如何でしょうか。



「市福(いっぷく)みらい会議」令和5年度の活動報告

市辺地区の皆さんが持つ“つながり”の現状を知るため「つながりアンケート」を全戸配布し、文化祭会場では「つながりの数珠つなぎアンケート」を来場者にお渡しし、総計で496名の方から回答を得ま

また、つながりの場としては、自治会活動が大事なつながりの場・居場所と認識している人が多く“つながるきっかけ”として自治会行事の大切さをあらためて認識しました。

また、この度つながりのきっかけづくりとして実施されたコミセン事業「イチナリエキ秋葉“うたごえ広場”」と多世代交流「ローザンベリー多和田のイルミネーション鑑賞ツアー」に同行して動画収録を行い、つながり広辞録「動画編」としてDVD化しましたので、希望の方には頒布の予定です。市福みらい会議事務局（コミセン内）まで申し込んでください。

今後つながり続けるためには、誰とでも気軽に交流できる機会・集いの場の情報を望む声と、誘ってくれる人がいることでつながりがさらに広がることの大切さがわかりました。今回のアンケート結果については来年度配布の予定をしています。

令和6年3月
市福みらい会議 座長 谷 精一郎



令和5年度「つながりアンケート」

市辺の地域福祉を考える「市福みらい会議」

市福みらい会議では、「人とつながりから“私”も“地域”も元気に」をテーマに、市辺地区にあるつながりの発掘・発現に取り組み、日常のくらしの中に、つながる機会や場が生まれ出すことがわかりました。

今年、今年もつながり大賞に、さらに地域を元気にしていくために、市辺地区の誰もがどこかで誰かとつながる機会や場を広げたいと考えています。

そこで、自治会や年代など幅広く、市辺地区の皆さんが持つ「つながり」を教えてください。アンケートを実施します。

回答くださったアンケートについては、各自治会にお渡しさせていただきます。アンケートへのご協力ありがとうございます。市福みらい会議が作成した、市辺地区にある集いの場や機会の詳細は、市福みらい会議が作成した、「いちのべ地域のつながり広辞録」をご覧ください。

性別	男	女	年代	()	代
職業	<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> 会社員	<input type="checkbox"/> 自営業	<input type="checkbox"/> 無職	<input type="checkbox"/> その他()
自治会	<input type="checkbox"/> 東市辺	<input type="checkbox"/> 西市辺	<input type="checkbox"/> 藤原	<input type="checkbox"/> 野口	<input type="checkbox"/> 三津屋
	<input type="checkbox"/> 長谷野	<input type="checkbox"/> 船場	<input type="checkbox"/> 柏	<input type="checkbox"/> 市川	<input type="checkbox"/> 布引
	<input type="checkbox"/> 布引会1丁目	<input type="checkbox"/> 布引会2丁目	<input type="checkbox"/> 地区外		

問1 日常の暮らしの中で、どのような人とお付き合いをされていますか？
当てはまるものを全てにチェックをお願いします。

ご近所同士 町内 市辺地区内 東近江市内

市外・県外 つながりはない その他()

問2 日ごろ近所の方(町内・市辺地区内)とどのようなお付き合いをされていますか？
一番近いものにチェックをお願いします。

接しているときは相談し、助け合っている 内容によっては相談し、助け合っている

世間話をする程度 会えば挨拶をする程度 つきあいがいい その他()

問3 問2でつきあいがあると返された方に尋ねます。
それはどのようなきっかけでつながりましたか？
当てはまるものを全てにチェックをお願いします。

自治会活動 知・田んぼ 各種団体事業 コミセン事業

サークル活動 趣味・お稽古 サロン ご近所で顔を合わせた

行きつけのお店 職場関係 昔からの友人 その他()

居場所や集いの場がありますか？
ものを全てにチェックをお願いします。

趣味やサークルなど、好きな事ができる場
子育てサロンなど、同世代が集う場
ボランティア活動の場
その他()

どこにありますか？

市辺地区内 東近江市内

あるとよいと考えますか？
場がありましたら、かつこ内に

多世代が集う場 ()

情報が行われる・発信できる場 ()

趣味・サークル活動 ()

悩みがせまる・相談できる場 ()

気軽に出会い話せる場 ()

は、どんな工夫があるとよいですか？
します。

会場までの移動手段

した。その結果の一部を紹介し、年代・性別にかかわらず挨拶・世間話しを通して、ご近所とのつながりが大多数であったが、50歳代、80歳代で2%の方が「つながりも付き合いもない」と回答がありました。

【第2回】「歩こう会」東近江市めぐり五個荘地区

令和5年度の「歩こう会」が3月9日(土)に40人の参加で実施されました。雪の舞う中ボランティアガイドさんの説明を受けながら五個荘地区を歩きました。昨年の能登川地区に続いて2回目となりました。

東近江市に住んでいながら私達が知らないことも多く、今回も市辺地区スポーツ協会と市辺コミュニティセンターの主催で、白壁と蔵屋敷の町並みめぐりが行われました。

今回の五個荘地区は、江戸時代まち・むらを結ぶ「中山道」が通り、人々の往来と物流を通じて近江商人が誕生した地です。近江商人の理念である「三方よし」(売り手によし、買

い手によし、世間によし)の精神が全国に展開されました。

近江商人屋敷の外村繁邸や中江準五郎邸、藤井彦四郎邸では「商家に伝わるひな人形めぐり」が開催されていて、ガイドさんの説明を聞き、その立派なお雛様に見入りました。

特に藤井彦四郎のお屋敷は広く、往時に活躍された姿を見ることが出来ました。今回の催しは、歴史的にも貴重な品々が多く展示されていて、感慨深いものが有りました。また、日頃の運動不足も解消され、有意義な1日となりました。

参加された榎木さんが思いを読まれました。

「市辺と近くで遠い商人屋敷 訪ねて知った規模の大きさ」 榎木 貞夫



部会だより

自然・環境部

部員も高齢化し、例年の事業が難しくなってきました。
願いはただ一つ、「子どもや孫たちの未来に、美しく安全な地球を残したい」です。
活動は変わっても、年齢や体力に合った、そして「地球を守りたい」の「思い」のこもった活動を、進めたいと考えています。
まだ、発表できる具体的な活動は決っていませんが、令和6年度は、新年度委員さんも含め、全員で話し合い、決めたいと思います。

自然・環境部 小西 恵美子

安全・安心部

昨年度は、ほぼ予定通りの活動ができました。具体的には、以下の通りです。

- ①防犯パトロールに参加
- ②防災無線による減災啓蒙活動
- ③「減災連絡会議」への参加
- ④AED講習会開催
- ⑤「市辺地区文化祭」への参画
- ⑥減災かるたの出前授業

八日市西小学童保育および布引小学校
⑦「わくわくこらぼ村」参加
⑤～⑦では、「減災かるた」を通じて楽しみながら減災知識の啓蒙活動ができたと思います。子ども達も1月に発生した能登半島地震を敏感に受け止めている様子でした。

本年度もこうした活動をより充実させていきたいと考えています。

安全・安心部 柴田 俊幸

歴史・文化部

令和5年度は、市辺れきし発見塾では「山の神行事について」のDVD試写会と「六角氏家臣・後藤氏の重要性」についての講演を開催しました。

中山道を歩くでは、天候にも恵まれ、鳥居本宿から豊郷までを27人で歩き、無事終わりました。「布施山縦走コースの整備」は山道の雑草刈や縦走コースが目立つよう黄色いテープを付けました。

DVDは、地区の神社祭事を中心に撮影し、今年の完成を目指しています。

今年度の計画は、①市辺れきし発見塾を2回、②中山道を歩く（愛知川～武佐）、③布施山歴史探索ウォークの開催、④DVDの制作等を計画していますので、歴史などに関心のある方は、例会（月1回）に一度、顔を見せてください。

歴史・文化部 苗村 久男

地域活力部

令和5年度は、6月24日（土）、25日（日）、八日市西小グラウンド芝生化事業に参加しました。馴れない作業に地域活力部の多くの会員が汗を流しました。

7月1日（土）は、万葉の森船岡山で美化作業を実施して、予想以上のゴミに驚きました。10月の万葉フェスタは、準備を行いました。残念ながら雨天中止となりました。せっかく準備した催しが天候で中止となることがないように、全天候型の広場が市辺地区にも欲しいものです。

本年の活動予定は、現在、検討中です。

地域活力部 森島 安夫

子ども健全育成部

令和5年度の途中から部長を仰せつかり、自分自身、十分理解できないまま年度末を迎えることになりました。残念ながら、市辺フェスタは雨天中止となりましたが、文化祭の射的コーナーでは、たくさん子どもたち楽しんでいただきました。

今年度も子どもたちの興味、関心のある事柄に目を向け、地域の皆様にも楽しんでいけるよう活動に努めたいと考えておりますので、なお一層のご協力をよろしくお願いします。

子ども健全育成部 村田 義久爾

健康・福祉部

令和5年度事業として、健康に重点を置いた高齢者スポーツのグランドゴルフ大会の開催を実施しました。

令和6年度に於いても、グランドゴルフ大会は、例年通り9月、10月に開催出来るよう考えています。また、市辺コミセン主催の長寿ふれあいサロン（12月）の共催を考えています。

グランドゴルフ大会、ふれあいサロンに多数のご参加をお願い致します。

健康・福祉部 今井 肇

編集後記

年始の能登半島地震から、3ヵ月が過ぎました。地震やゲリラ豪雨のたびに、備えなくてはならないながら日々の生活に追われ後回しです。

まず防災マップで、自然災害のリスクを確認し、災害に備えなくてはならないし、以前に用意した防災グッズを見直して買い換えるのも、一つの防災準備だと思います。

日本のどこで地震やゲリラ豪雨が起こるか分からないこの頃です。自然災害の発生を防ぐことはできませんが、日ごろから備えたいものです。

(M・H)